

勞政課

勞働保護課

給與課

調査課

第二十條 勞政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 勞働政策ニ關スル事項

二 勞働組合ニ關スル事項

三 勞働爭議調停其ノ他勞働關係ノ調整ニ關スル事項

事項

四 勞働情報ノ蒐集ニ關スル事項

五 他ノ主管ニ屬セザル勞働ニ關スル事項

第二十一條 勞働保護課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 一般勞働保護並ニ婦人及年少者ノ勞働保護ニ關スル事項

二 産業安全及危害豫防ニ關スル事項

三 勞働者災害扶助ニ關スル事項

四 勞働能率ノ増進ニ關スル事項

五 勞働者ノ福利厚生ニ關スル事項

六 其ノ他勞働保護ニ關スル事項

第二十二條 給與課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 賃金、給料其ノ他給與ニ關スル事項

二 勞働者ノ援護ニ關スル事項

三 勞働者用物資ニ關スル事項

第二十三條 調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 一般勞働法制ノ調査企畫ニ關スル事項

二 勞働ニ關スル統計ノ蒐集整理ニ關スル事項

三 國際勞働事情ノ調査ニ關スル事項

四 勞働行政關係職員ノ教養訓練ニ關スル事項

第二十四條 勤勞局ニ左ノ三課ヲ置ク

企畫課

業務課

補導課

第二十五條 企畫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 勤勞需給ニ關スル一般の企畫ニ關スル事項

二 勤勞需給狀況ノ一般の查察ニ關スル事項

三 職業ニ關スル登録其ノ他調査統計ニ關スル事項

事項

四 職業適性ノ調査ニ關スル事項

五 勤勞署ニ關スル庶務一般ニ關スル事項

六 職業行政關係職員ノ養成及訓練ニ關スル事項

七 他ノ主管ニ屬セザル勤勞需給ニ關スル事項

第二十六條 業務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 失業對策ノ實施ニ關スル事項

二 勤勞要員ノ斡旋充足ニ關スル事項

三 募集ニ關スル事項

四 職業指導ニ關スル事項

第二十七條 補導課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 職業補導ニ關スル事項

二 職業訓練ニ關スル事項

三 授産及内職施設ニ關スル事項

第二十八條 保險局ニ左ノ四課及一所ヲ置ク

庶務課

保險課

國民保險課

健康保險指導所

第二十九條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 社會保險制度ノ調査企畫一般ニ關スル事項

二 社會保險審査會ニ關スル事項

三 厚生保險特別會計業務勘定ニ關スル事項

四 他ノ主管ニ屬セザル社會保險ニ關スル事項

第三十條 保險課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 健康保險法ノ施行ニ關スル事項

二 勞働者災害扶助責任保險法ノ施行ニ關スル事項

事項

三 厚生保險特別會計健康勘定及勞働者災害扶助責任保險特別會計ニ關スル事項

實任保險特別會計ニ關スル事項

第三十一條 國民保險課ニ於テハ國民健康保險法ノ施行ニ關スル事項ヲ掌ル

第三十二條 年金課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 厚生年金保險法ノ施行ニ關スル事項

二 船員保險法ノ施行ニ關スル事項

三 厚生保險特別會計年金勘定及同船員勘定ニ關スル事項

第三十三條 健康保險指導所ニ於テハ健康保險被保險者ノ健康保持ニ關スル施設ノ調査及指導ニ關スル事項ヲ掌ル

次で四月一日を以て一般官吏制度の改正されるに伴い厚生省官制も重ねて次の如く改正された。

厚生省官制中改正

(昭和二十一年四月一日) 勅令第二百十五號

第一條 厚生省官制中左ノ通改正ス

第八條ノ二第二項中「理事官又ハ職業補導官」ヲ「二級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

級ノ厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改ム

第九條第二項中「關係各廳勸任官」ヲ「關係各廳一級官吏」ニ、同條第四項中「勸任官ノ待遇」ヲ「一級官待遇」ニ改ム

第十條 厚生省ニ左ノ職員ヲ置ク

厚生事務官

專任五人 一級

專任五十二人 二級

專任百八十九人 三級

厚生技官

專任三十七人 二級

專任十六人 三級

第十一條 前條ノ職員ノ外厚生大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏ノ中ヨリ内閣ニ於テ

厚生事務官ヲ命ズルコトヲ得

第十二條 厚生省ニ教護官ヲ置キ二級ノ厚生事務官

又ハ厚生技官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ少年

教護ノ指導監督ヲ掌ル

第十三條乃至第十八條 削除

第十八條ノ二ヲ削ル

第十九條第一項中「勞務監督官」ヲ「勞務官」ニ、「書記官、事務官、勞務官、理事官又ハ技師」ヲ「厚生事務官又ハ厚生技官」ニ、同條第二項中「勞務監督官」ヲ

「勞務官」ニ改メ同項中「勞働爭議調停」ノ上ニ「勞働組合及」ヲ加フ

第二十條 削除

第二十一條第二項中「事務官又ハ理事官」ヲ「厚生事務官」ニ改ム

第二條 厚生部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「事務官」專任一人
「技師」專任十五人
「屬」專任十八人
「技手」

「厚生事務官」專任一人 二級
專任七人 三級
專任十五人 二級
專任十一人 三級

第二條第一項中「製藥監督官補並ニ」及「及麻藥統制官補」ヲ削リ同條第二項中「書記官、事務官、理事官

又ハ技師」ヲ「厚生事務官又ハ厚生技官」ニ改メ

「製藥監督官補及麻藥統制官補ハ屬又ハ技手」ヲ以テ

「ヲ削リ同條第三項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改メ同條第四項中「及製

藥監督官補」及同條第五項中「及麻藥統制官補」ヲ削ル

第三條中「理事官」專任一人
「屬」專任一人
「技手」

「厚生事務官」專任一人 二級
專任一人 三級

第四條第一項中「事務官」專任三人
「理事官」專任四人
「技師」專任一人
「勞務官」專任五人
「屬」專任十五人
「技手」

「厚生事務官」專任十二人 二級
專任十五人 三級
專任一人 二級

第五條中「技師」專任九人
「技手」專任十二人
「書記」專任三人

「厚生事務官」專任三人 三級
「厚生技官」專任九人 二級
專任十二人 三級

第三條 防疫職員官制中左ノ通改正ス

第一條中「防疫官」專任三人
「防疫官補」專任一人
「判任」ヲ

「厚生技官」專任三人 二級
專任一人 三級

第二條中「防疫官及防疫官補」ヲ「前條ノ職員」ニ改ム

第三條第一項中「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ、

「判任官待遇」ヲ「三級官待遇」ニ、同條第二項中「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ改ム

第四條 醫務局官制中左ノ通改正ス

第二條 醫務局ニ左ノ職員ヲ置ク
長官 一人
次長 一人
厚生事務官 專任百五十三人 二級
專任三百三十八人 三級
厚生技官 專任千三十五人 二級
專任三百六十六人 三級

第四條第二項中「醫官」ヲ「一級又ハ二級ノ厚生技官」ニ改ム

第七條乃至第十五條ヲ削リ第十六條ヲ第七條トス

第五條 引揚接護院官制中左ノ通改正ス

第二條 引揚接護院ニ左ノ職員ヲ置ク

第六條 引揚接護院ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條 引揚接護院ニ左ノ職員ヲ置ク

第八條 引揚接護院ニ左ノ職員ヲ置ク

第九條 引揚接護院ニ左ノ職員ヲ置ク

内二十六人ヲ一級ト爲スコトヲ得

院長

厚生事務官

專任一人 二級

專任二人 三級

厚生技官

專任一人 二級

第四條乃至第六條ヲ削ル

第十二條 臨時海港檢疫所官制中左ノ通改正ス

第四條中「判任官待遇」ヲ「三級官待遇」ニ、「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ改ム

第五條中「道廳府縣ノ内政部長」ヲ「都道府縣ノ民生局長、内務部長又ハ教育民生部長タル地方事務官」ニ改ム

第六條中「道廳府縣判任官」ヲ「三級ノ地方事務官又ハ地方技官」ニ改ム

第十三條 道府縣立少年救護院職員令中左ノ通改正ス

第二條第一項中「奏任官」ヲ「二級官」ニ、「判任官」ヲ「三級官」ニ改ム

第七條及第八條中「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ、「奏任官」ヲ「二級官吏」ニ、「判任官」ヲ「三級官吏」ニ、「判任官待遇」ヲ「三級官待遇」ニ改ム

第九條及第十條 削除

第十一條中「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ、「任免級等」ヲ「任免級級」ニ、「奏任官」ヲ「二級官吏」ニ、「判任官待遇」ヲ「三級官待遇」ニ改ム

第十二條及第十三條 削除

第十四條中「奏任官待遇」ヲ「二級官待遇」ニ、「第三號表」ヲ「第一號表」ニ、「判任官待遇」ヲ「三級官待遇」ニ、「第四號表」ヲ「第二號表」ニ改ム

第十五條中但書ヲ削リ「公立學校職員俸給令」ヲ「官吏俸給令」ニ改ム

別表中第一號表及第二號表ヲ削リ「第三號表」ヲ「第一號表」ニ、「第四號表」ヲ「第二號表」ニ改ム

第十四條 日本藥局方調查會官制中左ノ通改正ス

第三條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第十五條 醫師試驗委員會官制中左ノ通改正ス

第三條第三項中「高等官」ヲ「一級又ハ二級ノ官吏」ニ、「奏任官ノ待遇」ヲ「二級官待遇」ニ改ム

第七條第一項中「厚生省高等官」ヲ「厚生省二級官吏」ニ改ム

第八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

醫師試驗書記一人ヲ置キ三級ノ厚生事務官ノ中ヨリ厚生大臣之ヲ命ズ

第九條中「及主事」ヲ「主事及書記」ニ改ム

第十六條 齒科醫師試驗委員會官制中左ノ通改正ス

第三條第三項中「高等官」ヲ「一級又ハ二級ノ官吏」ニ、「奏任官ノ待遇」ヲ「二級官待遇」ニ改ム

第七條第一項中「厚生省高等官」ヲ「厚生省二級官吏」ニ改ム

第八條第一項中「厚生屬又ハ醫師試驗書記」ヲ「三級ノ厚生事務官」ニ改ム

第十七條 藥劑師試驗委員會官制中左ノ通改正ス

第二條第二項中「高等官」ヲ「二級官吏」ニ、「同條第三項中「高等官」ヲ「一級又ハ二級ノ官吏」ニ、「奏任」ヲ「二級官」ニ改ム

第十條中「厚生屬又ハ醫師試驗書記」ヲ「三級ノ厚生事務官」ニ改ム

第十八條 引揚接護連絡委員會官制中左ノ通改正ス

第二條中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第十九條 賃金委員會官制中左ノ通改正ス

第六條中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十條 失業對策委員會官制中左ノ通改正ス

第六條中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十一條 社會保險審查會規程中左ノ通改正ス

第六條第一項第一號及第七條第一項第一號中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第十六條第二項中「高等官」ヲ「二級官吏」ニ改ム

第十七條第二項中「判任官」ヲ「三級官吏」ニ改ム

第二十二條 社會保險制度調查會官制中左ノ通改正ス

第三條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十三條 中央衛生會官制中左ノ通改正ス

第三條中「警視總監」ヲ「東京都長官」ニ改ム

第七條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第十條第二項中「厚生省高等官」ヲ「厚生省二級官吏」ニ改ム

第十二條第一項中「厚生屬」ヲ「三級ノ厚生事務官」ニ改ム

第二十四條 醫藥制度調查會官制中左ノ通改正ス

第三條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十五條 中央社會事業委員會官制中左ノ通改正ス

第三條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム、

第二十六條 國民體力審議會官制中左ノ通改正ス

第三條第二項中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十七條 國民優生法施行令中左ノ通改正ス

第三條第二項中「道府縣」ヲ「都道府縣」ニ改ム

第六條中「關係各廳高等官」ヲ「關係各廳ノ一級又ハ二級ノ官吏」ニ改ム

第二十八條 左ニ掲グル勅令ハ之ヲ廢止ス

機械技術員養成所官制

軍人援護對策審議會官制

興生事業委員會官制

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二十一年人口調査規則の公布

政府は戰後各般事情の變動に對處するに就て、速に現在人口の調査を遂行することを必要と認め、此際資源調査法第一條の規定に依り、昭和二十一年四月十六日午前零時を以て之を實施することとし、二十一年二月二十三日之が調査規則並に調査施行心得を左の如く公布した。

昭和二十一年人口調査規則

(昭和二十一年二月二十三日)

昭 令 第 五 號

第一條 昭和二十一年人口調査ハ昭和二十一年四月十日

六日午前零時ノ現在ニ依リ之ヲ行フ

第二條 昭和二十一年人口調査ハ前條ノ時期ニ於テ内地(特別ノ事情アル地域ニシテ内閣總理大臣ノ指定スルモノヲ除ク以下同ジ)ニ現在スル者ニ付テハ行フ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ行ハズ

一 外國人

二 外國人ノ世帯ニ現在スルモノ

三 朝鮮人ニシテ朝鮮ニ歸還ヲ希望スルモノ

四 臺灣人ニシテ臺灣ニ歸還ヲ希望スルモノ

五 沖繩縣人ニシテ沖繩縣ニ歸還ヲ希望スルモノ

前條ノ時期前ニ内地ノ港灣ヲ發シ途中寄港セズシテ前條ノ時期後二日以内ニ初メテ内地ノ港灣ニ入りタル者ハ昭和二十一年四月十六日午前零時ニ内地ニ現在シタル者ト看做ス

第三條 昭和二十一年人口調査ハ前條ニ該當スル者ニ付左ノ事項ヲ調査ス但シ第七號ノ事項ハ年齢(數ヘ年)十三歳乃至六十一歳ノ者ニ付テノミ之ヲ調査ス

一 本籍地

二 住所

三 氏名

四 男女ノ別

五 年齢(數ヘ年)

六 昭和二十一年四月ニ於テ行フ農家人口調査ノ調査票提出ノ有無

七 最近一箇月間ノ就業ノ状態

八 内地ニ定住ヲ希望スル朝鮮人及臺灣人ニ付テハ朝鮮人臺灣人ノ別

第四條 昭和二十一年人口調査ハ各世帯ニ就キ之ヲ執行ス

本令ニ於テ世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス家計ヲ共ニスルモノ別ニ住居ヲ有スル者又ハ住居ヲ共ニスルモノ別ニ家計ヲ立ツル者ハ一世帯トス其ノ一人ナル場合亦同ジ、寄宿舎、病院、旅館、下宿屋、合宿所其ノ他家計ヲ共ニセザル者ノ集合スル場屋又ハ船舶ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザルモノハ一場屋又ハ一船舶毎ニ一世帯ニ準ズ

第五條 世帯主又ハ世帯ノ管理者ハ其ノ世帯ニ現在スル者(第二條第一項各號ノ一ニ該當スル者ヲ除ク)ニ付第三條各號ノ事項ヲ申告スベシ

第一條ノ時期ニ汽車電車其ノ他世帯ナキ場所ニ現在シタル者及聯合國軍ノ所有シ若ハ占據スル建物若ハ地域内又ハ外國人ノ世帯ニ偶々現在シタル者ハ調査時期後初テ到著シタル世帯ニ現在シタル者ト看做ス世帯ニ於テ世帯主ナキトキ又ハ不在ナルトキハ事實上之ヲ管理スル者世帯ニ在ル者ノ選定シタル者又ハ人口調査員ノ指定シタル者ヲ以テ世帯ノ管理者トス

第六條 申告義務者ハ各世帯ニ配付スル人口調査申告書用紙ヲ以テ昭和二十一年四月十六日午前八時迄ニ人口調査申告書ヲ作成シ人口調査員ノ巡回ヲ待チ之ヲ提出スベシ

第七條 人口調査申告書用紙ハ別記様式ニ依リ府縣知事又ハ市町村長之ヲ作成スベシ

第八條 第二條ニ該當スル者何レノ世帯ニ於テモ申告セラレザリシコトヲ知リタルトキハ昭和二十一年四月十八日迄ニ最寄人口調査員ニ其ノ旨ヲ申出ヅベシ但シ事宜ニ依リ最寄市町村長ニ申出ヅルコトヲ得

第九條 昭和二十一年人口調査ハ各世帯ニ就キ之ヲ執行ス

本令ニ於テ世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス家計ヲ共ニスルモノ別ニ住居ヲ有スル者又ハ住居ヲ共ニスルモノ別ニ家計ヲ立ツル者ハ一世帯トス其ノ一人ナル場合亦同ジ、寄宿舎、病院、旅館、下宿屋、合宿所其ノ他家計ヲ共ニセザル者ノ集合スル場屋又ハ船舶ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザルモノハ一場屋又ハ一船舶毎ニ一世帯ニ準ズ

第五條 世帯主又ハ世帯ノ管理者ハ其ノ世帯ニ現在スル者(第二條第一項各號ノ一ニ該當スル者ヲ除ク)ニ付第三條各號ノ事項ヲ申告スベシ

第一條ノ時期ニ汽車電車其ノ他世帯ナキ場所ニ現在シタル者及聯合國軍ノ所有シ若ハ占據スル建物若ハ地域内又ハ外國人ノ世帯ニ偶々現在シタル者ハ調査時期後初テ到著シタル世帯ニ現在シタル者ト看做ス世帯ニ於テ世帯主ナキトキ又ハ不在ナルトキハ事實上之ヲ管理スル者世帯ニ在ル者ノ選定シタル者又ハ人口調査員ノ指定シタル者ヲ以テ世帯ノ管理者トス

第六條 申告義務者ハ各世帯ニ配付スル人口調査申告書用紙ヲ以テ昭和二十一年四月十六日午前八時迄ニ人口調査申告書ヲ作成シ人口調査員ノ巡回ヲ待チ之ヲ提出スベシ

第七條 人口調査申告書用紙ハ別記様式ニ依リ府縣知事又ハ市町村長之ヲ作成スベシ

第八條 第二條ニ該當スル者何レノ世帯ニ於テモ申告セラレザリシコトヲ知リタルトキハ昭和二十一年四月十八日迄ニ最寄人口調査員ニ其ノ旨ヲ申出ヅベシ但シ事宜ニ依リ最寄市町村長ニ申出ヅルコトヲ得

第九條 昭和二十一年人口調査ハ各世帯ニ就キ之ヲ執行ス

本令ニ於テ世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス家計ヲ共ニスルモノ別ニ住居ヲ有スル者又ハ住居ヲ共ニスルモノ別ニ家計ヲ立ツル者ハ一世帯トス其ノ一人ナル場合亦同ジ、寄宿舎、病院、旅館、下宿屋、合宿所其ノ他家計ヲ共ニセザル者ノ集合スル場屋又ハ船舶ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザルモノハ一場屋又ハ一船舶毎ニ一世帯ニ準ズ

第五條 世帯主又ハ世帯ノ管理者ハ其ノ世帯ニ現在スル者(第二條第一項各號ノ一ニ該當スル者ヲ除ク)ニ付第三條各號ノ事項ヲ申告スベシ

第一條ノ時期ニ汽車電車其ノ他世帯ナキ場所ニ現在シタル者及聯合國軍ノ所有シ若ハ占據スル建物若ハ地域内又ハ外國人ノ世帯ニ偶々現在シタル者ハ調査時期後初テ到著シタル世帯ニ現在シタル者ト看做ス世帯ニ於テ世帯主ナキトキ又ハ不在ナルトキハ事實上之ヲ管理スル者世帯ニ在ル者ノ選定シタル者又ハ人口調査員ノ指定シタル者ヲ以テ世帯ノ管理者トス